

日本基督教青年會同盟

軍隊慰問部，實況

# 軍隊慰問部、實況

## 事業ノ經過

日本基督教青年會同盟ハ大正七年八月浦潮派遣軍ニ對シ軍隊慰問部ヲ開設スルノ議ヲ決シ主事齊藤惣一ヲ西伯利ニ派遣シ實地調査ヲ為サシメ其報告ニ基キ諸般ノ方針ヲ定メ九月七日ヨリ事業ヲ開始シ同盟委員中ヨリ左ノ役員ヲ選舉シタリ

理事長	江原素六	理事	井深梶之助
理事	長尾半平	理事	伊藤一隆
同	高橋元吉	同	佐嶋啓助
同	齊藤惣一		

此中長尾、佐嶋、齊藤ノ三理事ハ常務理事トシテ專ラ事業ヲ經

當ノ任ニ當レリ

(後大正八年四月小松武治常務理事トナリ同五月日足信亮理事ト  
計監督)トナリ、同七月理事佐嶋啓助辞任ニ同十月常務理事小  
松武治辞任ニ同時元田作之進、山本邦之助、藤田逸男、三名理  
事トシテ就任ス)

九月十三日ニハ幹事内々藤隆行、増田健三、副幹事前田富太郎  
ヲ任命シ、続イテ長尾齊藤ノ兩常務理事ト共ニ是等、職負浦  
潮ニ出張シ、諸般ノ設備ニ着手シ、先ヅ鐵道化員車一輛ヲ借受ケ、其  
内部ヲ日用品分配所、休總所、新聞雜誌閱覽所等ニ區劃シ、必要ノ物  
資ヲ搭載シ、鐵道沿線ノ各駐屯兵ヲ訪問スルエトセリ。設備成ルヤ、軍  
司令官ハ副官ヲ從ヘテ來車セラレ親シク我事業ヲ視察シ、且ツ其計畫ヲ

聴取シ多大ノ感謝ト讃辭トヲ陳ベラレタリ。此貨車ハ九月廿八日浦潮ヲ發シ  
烏蘓里<sup>ハムロフスリ</sup>哈府ヨリ黑龍西伯利東清ノ各鐵道ヲ巡回シ以線到ル所ニ停車シ  
出征軍人ヲ慰問セリ。

一方浦潮ニ於テハ假舎ヲ借り此處ニ俱樂部ヲ設ケ出征軍人接待ノ設備ヲ為シ  
幹事ハ別ニ新聞雜誌日用品食料品等ヲ推乃帶シテ市ヲ離レタル各兵舎ヲ  
訪問分贈シ傷病兵ヲ各病院ニ見舞ヒタリ。続イテ一番川大隊本部ニモ俱樂  
部ヲ設ケテ兵士ノ休總喫茶娛樂運動書翰認所兩替所等ノ設備ヲナ  
シ專ラ兵士ノ慰問ニ従ヘリ

十二月初旬ニ至リ村上正次ヲ幹事長トシ幹事副幹事十三名ヲ西伯利ニ増派  
シフオンタナヤ街ニ假事務所ヲ開キ二番川兵舎エヤレスレエードニ俱樂部ヲ  
増設シ貨車俱樂部ヲ二輛ニ増加シ慰問文庫ヲ新設シ活動寫真講

談師等ヲ囑託シテ、予テ館内ニ陸海軍人俱樂部ヲ設ケ陸海軍并ニ  
民會青年會協同シテ每週隔日ニ大慰安會ヲ開催シテ兵民トモニ慰安ノ道  
ヲ講セリ

尚進ニテ哈府、滿州里、智多ニ俱樂部ヲ設ケ浦潮俱樂部ト同様ノ設備ヲ  
施セリ。此時職負ノ配置ハ

浦潮事務所ニ幹事長外幹事二名 同上俱樂部 三名

滿州里俱樂部 二名 智多俱樂部 三名

哈府俱樂部 四名

第一貨車 三名 第二貨車 三名

外ニ活動写真隊、講談師數名アリ

内地ヨリ送レル物資漸次多キヲ加ヘ、殊ニ蓄音機、其他ノ樂器、運動具等多

數到着ニ用紙封筒他ノ日用品食料品等豐富トシ各俱樂部ノ内容愈々  
充實セリ。

又凱旋部隊ニ對シテハ埠頭ニ別ニ慰問貨車二輛ヲ借受ケ之ニ休憩所ヲ  
設ケ茶菓ヲ供シ兵舎内ニ於テ活動写真講談會等ヲ催シ記念品トシテ小  
國旗手拭キヤラメル聖書等ヲ贈呈セリ

八年四月ニ至リ從來ノ組織ヲ改メアレキセーフスカヤ街ニ事務所ヲ設ケ西伯  
利總支部ト稱シ滿洲、哈府、智多、哈爾濱ニ各支部ヲ置キ西伯利駐屯軍所  
在地ヲ四區ニ別テ各支部ヲシテ其一區域ヲ管掌セシメ大小三十餘ヶ所ノ俱樂部  
ヲ設ケ漸次五ヶ所以上トスル計畫)ケタリ。是ヨリ先三月村上幹事長ニ辭任シ藤

田逸男幹事長トナリ幹事長、幹事副幹事合計三十二名、此外活動写真四  
臺ニ對スル技士囑託七人、講談師、浪花師等十六人雇負數十人アリ。

智多、哈府ニ齒科医学ヲ以テ無料ニテ齒科ヲ診療ニ從事セシメタリ

八月末、藤田幹事長辭任シ河合龜助幹事長トナリ、更ニ哈爾濱支部開始セリ

其間兵士、謝状ヲ寄セラル者無数、殊ニ軍司令官ヨリハ我慰問ノ成績ニ対シ書状ヲ以テ鄭重ナル挨拶トテ感謝トヲ寄セラレ師團長、師團參謀長、旅團長大隊長、病院長等ヨリ感謝状ヲ送ラレ又ハ特ニ口上ヲ以テ感謝セラレタル本部、光榮トスル所ナリ

陸軍省ニテモ我慰問ノ事業ヲ認マ特ニ左ノ如キ便利ヲ与ヘラレタリ  
陸軍省送達西發第八二一號

防寒衣具貸與ノ件通牒

大正七年十月廿九日 陸軍大臣秘書官 建川 美治

日本基督教  
青年會同盟 軍隊慰問部理事長江原素六殿

十月二十日大臣宛 願出貴部幹事ニ對シ防寒衣并ニ防寒具一切三十  
人分貸与方認可相成各条在浦潮兵站司令部ニ就キ受領相成度尚其  
ノ他ノ事項ニ関シテハ便宜供與方夫々關係ノ向ヘ通牒致置各付貨車ノ  
使用ニ就テハ野戰交通部ヘ俱樂部用ハラツク及物資ノ給与ニ関シテハ所在  
師團司令部ト協議相成度也

猶軍司令部ヨリ本年十月ニ至リ更ニ軍隊慰問部役員ノ戰地旅行ノ際ハ  
便乗許可証ヲ発行シ軍用車、郵便車或ハ特宜ニ依リ普通客車ニ官費ヲ以テ便  
乗セシメラレ、物資輸送ニ際シテハ貨車ノ配給又ハ貨車一部ノ貸与ヲ官費ニテ  
為カレ業務ノ補助ニハ兵卒ヲ差遣セラレ、通信ニハ官報發信權ヲ与ヘラル、等ノ  
特權ヲ許可セラル、是レ皆我事業ノ成績ヲ券ケツ、アルヲ証明シテ餘リマリス

## 慰問部ノ組織

軍隊慰問部ノ組織ハ理事十一人アリテ理事會最高ノ權ヲ執リ本部ニ常務理事三人、内外ノ事務ヲ統括シ其下ニ西伯利總支部アリ幹事長之ヲ統轄シ總支部ノ下ニ四支部アリ支部主任之ヲ担任シ其下ニ幹事副幹事雇員囑託等アリテ事務ヲ分担ス、

會計ハ各支部ニ於テ豫算ヲ定メテ總支部ニ提出シ、總支部ハ審査ノ后之ヲ本部ニ致シ理事會ノ決議ニヨリテ執行スルヲトス

理事ハ同盟委員長ノ選任ニ由ルモノニシテ同盟委員ハ日本基督教青年會同盟ノ總務スル者ト各地方部會ニ於テ選舉シタル者現在卅三名ヨリ成ル

## 事業ノ種類

事業ノ種類ハ出征軍人及ビ出征傷病者ノ慰問其外獨塊俘虜及ビ露國

歸還俾虜ノ慰問救濟等ニシテ之ヲ各部間ニ付キ概記スレバ左ノ如シ

俱樂部

ハ浦潮ハハロフスク、フラゴエチエンスク、哈爾賓滿州里智多等ニ

亘リテ大凡兵管内ニ設ケ其數大小三十餘ヶ所、臨時設備ヲ加ヘテ約五十餘ヶ所  
アリ内部ニ左ノ各部ヲ設ケ各幹事之ヲ担当シ日夜出入兵ニ慰勞ノ任ニ

當レリ

(一) 讀書室

慰問文庫ヲ設ケ數百冊、圖書ヲ備付ケ自由ニ閲覧セシメ又貸出ヲナス

(二) 書翰認所

封筒、葉書用箋及卷紙、筆墨土等ヲ備ヘ自由ニ書信發送ノ便ヲ

計ル

(三) 娛樂室

蓄音機、オルガン、ウァイオリン、琵琶、尺八、明笛、手風琴、大正琴

碁、將棋等ヲ備ヘ自由ニ娛マシム

(四) 運動室

室内運動具ニホーリング、アレー、輪投、關球盤、ピンポン、インドアバ

バスボール等、室外運動具ニハバスボール、バレーボール、フットボール、バスケットボール、テニス具等ヲ備付ケ運動体育担任教師巡回シテ之ヲ指導ス

(五) 練武場 擊劍、柔道用具等ヲ備ヘ教師之ヲ指導ヲナス

(六) 内理髮室 理髮道具一切ヲ備ヘ自由ニ使用セシム

(七) 湯飲所 茶器一切ヲ備付ケ大小湯沸ヲ以テ常ニ湯ヲ煮沸シ置キ以テ

喫茶ニ便ナラシム

(八) 原價取次所 日用品、食料品等ヲ内地ニテ買入レ之ヲ原價ヲ以テ分譲ス

(九) 接待日 特ニ接待日ヲ設ケ汁粉、饅頭、蕎麦、茶菓等ヲ饗食シス活動

寫真、講談、浪花節等ノ會ヲ開ク

以上各俱樂部ノ施設ニシテ大小ニ由リ備品ニ多少ノ差アリ

尚俱樂部以外ニ左ノ諸種ノ設備ヲナセリ

(一) 慰問貨車

各支部ニハ一臺ツド、慰問貨車ヲ備ヘ、活動寫真、講談師

等ヲ兼セ、担任幹事之ヲ伴ヒ、巡回慰問ヲ為スト、共ニ物資ノ運輸ヲナス

(二) 露語教授

露語ノ教師ヲ送リテ、日本兵士ニ簡單モ、露語會話ヲ教授ス

(三) 軍隊送迎

凱旋部隊ヲ招待シ、毎夜宿所内ニテ、活動寫真、其他ノ會ヲ催シ

紀念慰問品ヲ贈リ、上陸部隊ハ幹事之ヲ輸送船内ニ迎ヘ、ハカギ用箋等ヲ

贈ル、第十二師團ニ對シテハ、凱旋ニ際シ、小國旗ヲ持、キヤラナル聖書ヲ一組トセル記

念品ヲ送レナク、贈呈セリ

(四) 獨逸俘虜事務

浦潮ニヨリ、スリ、アラゴエチエンスク、智多ノ日本軍管理ノ

獨逸俘虜、五千名ニ對シ、數回ニ涉リ、寄贈セル物品ハ、石鹼、手拭、キヤラナル

テニス器具、フットボール、風琴、蓄音器、運動具、繪具、同用紙、顯微鏡、シヤ

ツ、ツボン下、靴下、靴、西洋服等ニシテ、又露國管理ノ在知多獨逸俘虜ニ